

港北の昔ばなし紙芝居

作品介绍

平成26~28年度に実施した生涯学級の受講生が、港北の昔ばなし等に関する紙芝居を作成しました。この地図は、紙芝居のもとになった昔ばなしや伝説が伝わる地域を示しています。

港北の昔ばなし紙芝居は、下記の区内10箇所の施設で閲覧・貸し出ししています。

貸出・閲覧

- ・港北図書館 (1階まちの情報コーナー)
- ・港北区区民活動支援センター (港北区役所4階40番)
※貸出には、グループ登録が必要
- ・区内市立保育園5園 (南日吉・大曾根・太尾・菊名・港北)
- ・大倉精神文化研究所附属図書館

閲覧のみ

- ・菊名コミュニティハウス
- ・港北区子育て支援拠点どろっろ



※地図中の赤い数字は、リーフレット中面の紙芝居の番号と対応しています。

地域	紙芝居番号	タイトル
日吉本町	9	おこんどぶ
日吉	18	この橋わたれ
新吉田町	22	浄流寺の季節託児所
	28	で、でたーっ 大入道
	30	百目鬼ってホントにいるの?
新羽町	35	昔名物寒中そうめん
	23	善教寺坂のホーキぎつね
網島西	24	大蛇とはやりやまい(再掲)
	26	つなしま温泉ものがたり
網島東	27	つなしまのもも 日月桃
大曾根	17	こどもとおじぞうさま
	24	大蛇とはやりやまい(再掲)
大倉山	7	大倉山天然アイススケート場
	8	大倉山の 大倉邦彦さんの話
師岡町	5	いの池不思議物語
小机町	13	熊野神社のともだち鯉
	6	雲松院の龍
	16	小机城と日産スタジアム
鳥山町	15	乞食松地蔵尊
	31	鳥山の獅子
	33	はなとりかんのん
新横浜	36	名馬いけずきと馬頭観音さま
	37	メカリ婆さん
	19	サギになったタニシ
岸根町	34	へびひめものがたり
篠原町	11	岸根の琵琶橋
菊名	21	しのはらはちまんさまのきつね
	1	石ざるとわこちゃん
	2	石ザルのおつけ
	3	いたずらかっぱ
	4	いたずらぎきの石猿
	10	カッパの菊之助
	20	じいさまと大蛇
	25	だいだらぼっちは神様だった
	29	手長エビさんしりませんかに?
	32	走り大黒
仲手原	38	やかん坂のタヌキ
港北区全域	12	きつねの夜まつり
	14	くみとりものがたり
39	よこはま七福神巡り	

27 つなしまのもも 日月桃 <28>, 8枚> 網島東
作・絵 萩原 喜久子



明治40年に網島の池谷氏が栽培を始め、今も栽培されている「日月桃」の歴史を分かりやすく伝えています。

28 で、でたーっ 大入道 <27>, 8枚> 新吉田町
作・絵 よしの ひさえ



新月の夜、新吉田の辺りの真っ暗な道を歩いていると、松の木の上に白い大入道が現れたというおはなし

29 手長エビさんしりませんかに? <28>, 12枚> 菊名
作・絵 松井 栄里



菊名池に住むドジョウのおいちゃんが、サワガニのカニッチに昔の菊名池の様子や、菊名池の主だった鯉の昔話を生き生きと語ります。

30 百目鬼ってホントにいるの? <28>, 8枚> 新吉田町
作・絵 よしの ひさえ



昔、新吉田の辺りを流っていた川にいたと伝えられる「どうみき」という妖怪のおはなし

31 鳥山の獅子 <27>, 8枚> 鳥山町
作・藤岡 けい 絵・藤岡 園生



大正14~15年頃まで続いていた、鳥山八幡宮の獅子頭を担ぎ、はやり病に苦しんでいる人の家を一軒一軒回る風習を紹介しています。

32 走り大黒 <28>, 10枚> 菊名
作・絵 青柳 宏美



村の人々に福を届けようと走り回る大黒様。そんな大黒様を菊名の魚屋夫婦がを見つけ、丁寧なおもてなしをしたのに、何故か悪い事ばかりが起こるというおはなし

33 はなとりかんのん <26>, 12枚> 鳥山町
作・絵 守屋 厚



馬が動かず困っていた働き者の夫婦を助けてくれた小僧さんは、実は三會寺の観音様だったというおはなし

34 へびひめものがたり <28>, 15枚> 新横浜
作・絵 おおいし きよえ



鶴見川に住む竜神がへび姫に会いに来るたび嵐が起り、村人は迷惑していました。へび姫に相談したところ、琵琶法師の助けもあり、竜神は来なくなったというおはなし

35 昔名物寒中そうめん <27>, 8枚> 新吉田町
作・絵 よしの ひさえ



かつて港北区で行われていた、そうめん作りについて、工程や鶴見川との関わりなどを紹介しています。

36 名馬いけずきと馬頭観音さま <28>, 12枚> 鳥山町
作・絵 川上 あき子



鳥山で亡くなったと伝えられる、佐々木高綱の名馬「いけずき」が活躍した、宇治川の合戦について描かれています。

37 メカリ婆さん <26>, 11枚> 鳥山町
作・絵 筒井 珠美



12月8日のヨウカゾウの日に、一目小僧と一緒にやって来ると伝えられている、妖怪「メカリ婆さん」のおはなし

38 やかん坂のタヌキ <27>, 11枚> 菊名
作・絵 大石 規余江



タヌキがやかんに化けて、坂を転がったことから、「やかん坂」という名がついた、蓮勝寺の脇の坂のおはなし

39 よこはま七福神巡り <27>, 10枚> 港北区全域
作・絵 田中 佐知子



還暦を迎えた夫婦 福次郎とナナが、港北区内の「横浜七福神」がある寺社を一つずつ訪れ、紹介します。

港北の昔ばなし紙芝居の作者が「港北むかしばなし紙芝居の会 たまたまこ」を結成し、紙芝居の上演活動を行っています。上演を希望される場合は、港北区区民活動支援センター(電話:540-2246)へお問合せください。

平成29年3月発行 港北区役所地域振興課(電話045-540-2239) 協力:公益財団法人大倉精神文化研究所



港北の昔ばなし 紙芝居作品介绍

★50音順に並んでいます。
★<>内の表記について
②⑦⑩…紙芝居を作った
年度を表して
います。



1 石ざるとわこちゃん <②⑧、19枚>
作・絵 草加 登起夫

菊名



いたずらをして石に閉じ込められた石猿を外に出す代わりに、百目鬼の心を鎮めてくれるよう神様に言われた石猿とわこちゃん。わこちゃんの歌が百目鬼の心を鎮め、3人は友達になります。

2 石ザルのおつけ <②⑧、10枚>
作・絵 やすだ かよこ

菊名



いつもは濡れている口元が、天変地異が起こる前には乾き、災いを知らせると伝えられる、菊名 蓮勝寺の石ザルのおはなし

3 いたずらかっぱ <②⑧、12枚>
作・絵 大石 規余江

菊名



好奇心いっぱいの少年トラちゃんと、菊名池から飛び出てきたカッパが友達になり、楽しく遊ぶ様子が描かれたおはなし

4 いたずら好きな石ザル <②⑧、11枚>
作・絵 筒井 珠美

菊名



いたずら好きな石ザルが村人を困らせた事を反省し、関東大震災などの災害を知らせ、村人を救ったという言い伝え

5 いの池不思議物語 <②⑦、9枚>
作・絵 五十嵐 登久恵

師岡町



弓矢でケガをした権現様に目をあげたことから、池の鯉はみんな片目になるという、熊野神社「いの池」に伝わるおはなし

6 雲松院の龍 <②⑥、10枚>
作・絵 藤岡 慶

小机町



お寺の池から龍が現れ、大雨の中暴れまわったので、和尚さんがお経をあげると天に昇っていったという、雲松院に伝わるおはなし

7 大倉山天然アイススケート場 <②⑧、10枚>
作・絵 こんどう ようこ、絵:こんどう なおみ

大倉山



ゆうたくんが、犬を連れて散歩にやって来たおじさんとタイムスリップして、昔、大倉山にあった天然のアイススケート場遊びに行くおはなし

8 大倉山の大倉邦彦さんの話 <②⑧、13枚>
作・絵 前田 晴美

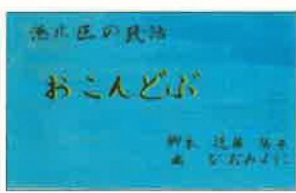
大倉山



大倉精神文化研究所を設立した大倉邦彦さんや、大倉山記念館について、ももちゃんとおばあちゃんと一緒に分かりやすく学ぶことができます。

9 おこんどぶ <②⑦、15枚>
作・近藤 陽子、絵:なおみ・ようこ

日吉本町



田植えの最中に足場から落ち、底なしのどぶ田に沈んでしまった、働き者の「おこん」の悲しいおはなし

10 カッパの菊之助 <②⑦、9枚>
作・絵 松本 麻里子

菊名



しげるとカッパの菊之助が、菊名池で出会い、友達になります。2人はタイムワープして、色々な時代の菊名池の様子を見て回ります。

11 岸根の琵琶橋 <②⑦、9枚>
作・絵 安藤 亜矢

岸根町



目が見えない琵琶法師が、橋が枇杷の木できていたことを言い当てたため、「琵琶橋」と呼ばれるようになったというおはなし

12 きつねの夜まつり <②⑧、11枚>
作・絵 五十嵐 登久恵

仲手原



善吉さんは、暗い道で和尚さんに化けたきつねにお金をとられます。帰る途中、今度はきつねの夜まつりに出くわして、きつねの前で歌や踊りを披露することになります。

13 熊野神社のともだち鯉 <②⑦、13枚>
作・絵 草加 登起夫

師岡町



一人ぼっちのとき坊が友達ほしいとつぶやくと、木の中からの池に住むきんぎょとこい太が飛び出してきました！3人の心温まる交流を描いています。

14 くみとりものがたり <②⑧、11枚>
作・絵 五十嵐 登久恵

港北区全域



今から100年ほど前に、港北区周辺で起こった、糞尿の汲み取りを巡る農民の闘いを描いています。

15 乞食松地藏尊 <②⑦、10枚>
作・絵 川上 あき子

鳥山町



鳥山川沿いの松の下にあり、お参りすると虫歯の痛みがおさまると伝えられているお地藏様のおはなし

16 小机城と日産スタジアム <②⑧、12枚>
作・藤岡 けい 絵:藤岡 園生

小机町



戦国時代にタイムワープし、小机城を巡る戦いを目にした少年達は、日産スタジアムでサッカーをして勝敗を決めてはどうかと武士達に提案します。

17 こどもとおじぞうさま <②⑥、7枚>
作:こんどう ようこ、絵:ようこ・なおみ

大曽根



子どもが丈夫に育つように願い、お地藏様のそばに捨て子をする、大曽根村の風習を紹介しています。

18 この橋わたれ <②⑥、12枚>
作・絵 たなか さちこ

日吉



そうめんを入れる木箱を隣村に売りに出かけた「き助」が、矢上川にかかる橋でカウソウに会うおはなし

19 サギになったタニシ <②⑧、9枚>
作・絵 はが ようこ

新横浜



子どものタニシは、タニシのおじいさんに願いを叶えてもらいサギに変身しますが、冬になりお腹がすいて、ついにはタニシを食べてしまうというおはなし

20 じいさまと大蛇 <②⑧、12枚>
作・絵 たなか さちこ

菊名



タバコ好きのじいさまが山に草刈りに行き、一服するため座ったのは、なんと大蛇の上だった！じいさまと大蛇のやりとりが楽しいおはなし

21 しのはらはちまんさまのきつね <②⑥、9枚>
作・絵 わだ やえこ

篠原町



医者三島先生が、往診の途中、篠原八幡神社の近くで出会ったキツネの親子との心温まる交流を描いたおはなし

22 浄流寺の季節託児所 <②⑧、8枚>
作・絵 よしの ひさえ

新吉田町



昔、田植えなどで農家が忙しい時に、小さな子どもを預かってくれた新吉田の浄流寺の様子が描かれています。

23 善教寺坂のホーキぎつね <②⑦、8枚>
作・絵 松井 栄里

新羽町



昔、善教寺坂の辺りに住んでいた、ホウキのように立派なしっぽのキツネにすっかり化かされてしまった保太郎さんのおはなし

24 大蛇とはやりやまい <②⑥、12枚>
作・絵 吉野 久枝

新羽町 大曽根



近くの村で病気が流行った時、稲ワラで作った大蛇が病気を食べてくれたというおはなし。港北区の伝統行事「注連引き」の由来が分かります。

25 だいだらぼっちは神様だった <②⑥、9枚>
作・絵 五十嵐 登久恵

菊名



心優しい巨人「だいだらぼっち」が、田畑に溢れた雨水を飲もうとして足をすべらせ、尻餅をついたところが菊名池になったというおはなし

26 つなしま温泉ものがたり <②⑧、14枚>
作・絵 五十嵐 登久恵

綱島西



大けがをして逃げ込んできた大工さんを助けたお礼に温泉旅館を建ててもらった夢を叶えた、綱島の農家「徳べい」さんのおはなし

29年度の作品

※ 表面の地図とは対応していませんので、ご了承ください。

40

けんちゃんとおじいじの東横線だより
作・絵 大石 規余江

東横線沿線

〈13枚〉



鉄道好きなケンちゃんは大好きなおじいじとみなとみらいの大観覧車に乗りたくて、渋谷から東横線に乗って出発。いろいろな駅にまつわるお話を紹介しています。

41

神さまにおんぶしてもらったおじいさん
作・絵 前田 晴美

師岡町

〈12枚〉



昔、師岡の熊野山にやってきた全寿じいさんが奈良の春日大社で熊野権現という神様に会い、神様におんぶしてもらい、熊野神社に戻ってくるといのおはなし

42

おばあちゃんちの三毛猫ミケちゃん
作 近藤 陽子、絵 近藤 裕

大曾根

〈11枚〉



昔、大曾根地区は畑や水田が広がり、夜はまっくらでした。鶴見川のほとりでよくみられたきつね火と猫のおはなし

43

さいのかみさまとバリケン
作・絵 草加 登起夫

新羽町

〈15枚〉



母の病気を治したいあみちゃんは、西方寺のさいのかみと、鶴見川のバリケンにお願いをします。さいのかみさまと、バリケンがお願いごとを叶えるおはなし

44

おしえておじいちゃん小机城のはなし
作・絵 川上 あき子

小机町

〈14枚〉



けんちゃんは、おじいちゃんと小机城址市民の森と出かけ、おじいちゃんからお城についていろいろなことを教えてもらうおはなし

45

小机城と日産スタジアム その2
作・絵 藤岡 けい

小机町

〈9枚〉



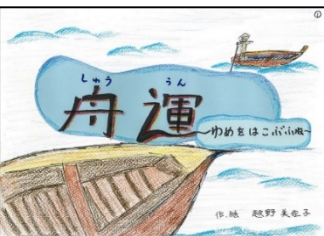
さとしとつよしは、日産スタジアムでサッカーを観戦した後にとある老兵士に出会います。老兵士から小机城を攻め落とした太田道灌について教えてもらいます。

46

舟運 ゆめをはこぶふね
作・絵 越野 美佐子

鶴見川

〈8枚〉



昭和のはじめ頃まで、鶴見川では舟を使っていろいろなものを運んでいました。小学生の誠くんは、おじいさんから鶴見川の昔の様子を教えてください。

47

忍法 たぬきがえし
作・絵 五十嵐 登久恵

新羽町

〈13枚〉



港北区の新田村に嫁がきた。嫁は、その家の気のいいたぬきを嫌い、ひどい目にあわせる。目に余ったたぬきはとうとう化けて嫁に仕返しをするというおはなし

48

知ってるかな？港北クイズ
作・絵 筒井 珠美

港北区全域

〈18枚〉



港北区のシンボルマークや有名な建物、マスコットキャラクターを知っていますか？クイズで楽しく紹介しています。

49

雨は誰が降らせたのか若雷神社と雨乞いの話
作・絵 吉野 久枝

新吉田町

〈11枚〉





新吉田の若雷神社と農民たちにそれぞれに伝わる雨乞いのおはなし。雨が降らない大干ばつ、鎌倉に向かう新田義貞が若雷神社で祈りはじめると…。

30年度の作品

※ 表面の地図とは対応していませんので、ご了承ください。

<p>50 おおくら山でかくれんぼ 作・絵 たなか さちこ</p> <p>大倉山</p> <p>〈10枚〉</p>  <p>昔、大倉山にはたぬき、うさぎ、豚などのいろいろな動物たちが住んでいました。そんな動物たちがかくれんぼをして遊んでいるおはなし</p>	<p>51 綱島のもも・日月桃 池谷道太郎ものがたり 作・絵 五十嵐 登久恵</p> <p>綱島</p> <p>〈18枚〉</p>  <p>明治に綱島の桃「日月桃」を発見した池谷道太郎さんのおはなし。「日月桃」発見にいたるまでの苦労と、栽培の発展を描いています。</p>
<p>52 小机城の侍と園児たち 作・絵 藤岡 けい</p> <p>小机町</p> <p>〈11枚〉</p>  <p>小机城址 市民の森にやってきた仲良し四人組のなおみ、ゆうと、けいすけ、まことは、森の中で不思議な出会いをします。どんな出会いがあったのでしょうか。</p>	<p>53 こうほくくしもだのまわりじぞう 作・絵 前田 晴美</p> <p>下田町</p> <p>〈13枚〉</p>  <p>下田町の真福寺には江戸時代の中ごろから「子育て延命地蔵」さまがまつられています。昔、このお地蔵さまを背中に担ぎ、家から家へと回っていたおはなし</p>
<p>54 港北区の横綱 武蔵山 作 近藤 陽子、絵 Conconz</p> <p>日吉</p> <p>〈12枚〉</p>  <p>昔、日吉に怪力で親孝行の少年がいました。少年はのちの「武蔵山」だったのです。武蔵山が横綱として活躍した様子などを描いています。</p>	<p>55 今は昔 港北年中行事紙芝居 作・絵 大石 規余江</p> <p>港北区全域</p> <p>〈11枚〉</p>  <p>平成生まれのあきちゃんは、昭和のころのおはなしが知りたくておばあちゃんに地域に伝わる習わしを教えてもらうおはなし</p>

令和元年度の作品

<p>56 港北の空の下～ハナミズキものがたり 作・絵 たまたまぼこ</p> <p>港北区全域</p> <p>〈11枚〉</p>  <p>「ハナミズキ」が港北区のシンボルの木になるまでのおはなしです。たまたまぼこのメンバー全員の手で制作しました。</p>	<p>みんなで紙芝居を楽しもう</p> 
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------